

# KADOMA PHOTO NEWS



## 五月田小学校で認知症サポーター養成講座

6月15日、五月田小学校の6年生が、車椅子体験や寸劇を見るなどして高齢者の暮らしや気持ちを考えました。自分には何が出来るのかを考える子どもたちの表情は真剣で、最後に講座を受けた証のオレンジリングが配られると、さっそく誇らしげにリングを腕に通していました。



## みんなの願い届くといいね 子ども七夕まつり

7月8日、島頭1号公園で、子ども七夕まつりが行われました。地域の大人に見守られて成長した子どもたちが、将来、地域を支えるリーダーになってほしいという願いから里井繁さんが呼びかけました。子どもたちもそれぞれに役割を担い、楽しみながらも良い経験を重ねているようでした。



## コーラスフェスティバルin Kadoma 2018

「心に響く」7月15日、ルミエールホールの大ホールにいた人は、この言葉の意味を「体感」したのではないのでしょうか。ゲストを含め14団体が出演したフィナーレの大合唱では、舞台上のみならず客席にも出演者が勢揃い。会場全体が一体となって「ふるさと」を歌い上げられました。



## パナソニック松愛会守口門真支部が門真荘に寄贈

社会貢献活動に力を入れる同支部。会員やその家族の協力で約87万5000個ものプラタブを集め、交換した加湿空気清浄機を市内の特別養護老人ホーム門真荘に寄贈しました。支部長の児島裕一さんは「会員はみんな地域のために何かできればと思っています。今後も活動を続けていきます」と話されました。



## キッズファッションショーテーマは「カジュアル」

7月8日、昨年大きな感動を受けた市民プラザのキッズファッションショーに今年もやって来た。ギャラリーからの大声援のもと、子どもたちはバッチリ決めポーズ。一人ひとりの満面の笑みが印象的だった。(市民特派員・石川良治)



## 門真のダンスチーム 韓国の大会で世界一

門真市内で活動するダンスサークルMAGNETのチームが、韓国で行われたダンスの世界大会「Kポップ・カバー・ダンス・フェスティバル」で優勝されました。65カ国、3140チームが出場した大会で、関西大会、全国大会を勝ち進んだ11人のチームが、みごと頂点に立たれました。



## 門真の未来 みんなで議論 市民ワールドカフェ

7月1日、市の新たな総合計画を考えるため、市役所食堂で市民ワールドカフェが開催され、約50人の参加者が、門真の強み、弱み、理想の将来像などを話し合いました。あちこちから笑い声が聞こえ、アンケートでは「今までダメなところばかり見えていたけど、門真の良いところも知れました」などのご意見が寄せられました。



## みんなでつくる門真のアート100選が初開催

7月14～16日、絵画のサークル代表者などでつくる実行委員会が、門真を題材とした初めての市民絵画展をルミエールホールで開催し、741人も人が訪れました。ふるさと門真の良さをあらためて発見し、門真をもっと好きになってもらおうと企画されました。薫蓋クスなど市内の名所のほか、何気ない日常の景色や、昔の門真の景色などもあり、見た人はメッセージカードに書かれた作者の思い出に共感するなどしておられました。



## 門真市出身の俳優 ニース国際映画祭で栄冠

門真市出身(中央小学校・第一中学校)で俳優のSADAさん(本名・野村禎章さん)が、フランスのニース国際映画祭外国語映画作品部門において、月元映里監督作品「奇跡のクリスマス」で最優秀主演俳優賞を受賞されました。マドリード、アムステルダムなど複数の国際映画祭でも同賞でノミネートされているそうで、今後のご活躍が期待されます。